

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科	単位数	授 業 形 態							
環境計画学 (Environmental Planning)	選	靄巻 峰夫	4 年生 環境都市工学科	学修単位 1	半期 週 2 時間							
授業概要	環境保全・創造のための体系的施策展開を行う環境計画の目的・位置づけを理解するとともに、環境計画に必要な環境評価手法の内容を学習する。											
到達目標	①我が国における環境に関する事象の現状と課題について理解する。 (C) ②環境計画の枠組みと目的と立案すべき内容について理解する。 (C) ③水環境工学, 年環境工学 (C)											
評価方法	定期試験の結果55%, 第1～8回の演習の提出状況・内容を30%, 第9回の演習の提出・内容15%で評価する。											
教科書等	[教科書]羽田・江成著「環境工学」森北出版											
内 容	(15週間で授業を18回実施する。なお、1回の自宅演習は200分を目処にする。)				学習・教育目標							
第 1 回	ガイダンス, 環境計画の背景 (環境問題の系譜)				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 2 回	環境政策の体系 (1) 環境基本法・環境基本計画・環境目標				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 3 回	環境政策の体系 (2) 環境保全施策 (規制的手法・誘導的施策)				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 4 回	環境政策の体系 (3) 環境保全施策 (規制的手法・誘導的施策)				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 5 回	環境アセスメント (1) 環境アセスメントの枠組みと手続き				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 6 回	環境アセスメント (2) スコーピング				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 7 回	環境アセスメント (3) 環境保全措置と予測・評価				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 8 回	環境アセスメント (4) 環境アセスメントの実践				(自宅演習) C-1 (d1)							
第 9 回					(自宅演習)							
第10回					(自宅演習)							
第11回					(自宅演習)							
第12回					(自宅演習)							
第13回					(自宅演習)							
第14回					(自宅演習)							
第15回					(自宅演習)							
第16回					(自宅演習)							
第17回					(自宅演習)							
第18回					(自宅演習)							
(特記事項)		JABEEとの関連										
		JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
		・教育目標				◎						

1. 合格ラインについて, 特に記載の無いものは, 60点以上を合格とします。

2. 定期試験について, 特に記載の無いものは, 評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は, 特に記載の無いものは, 25%ずつとなります。)

環境計画学 4学年

環境問題の系譜と環境保全施策（第1週）

我が国における公害・環境問題の歴史を学び、環境計画の必要性を理解する。
また、環境計画に盛り込まれる主な対策について系統的に学習する。

環境政策の体系（第2－4週）

我が国における環境保全・創造にかかる施策を学び環境計画の枠組みを理解する。

- ・環境基本法、環境基本計画
- ・環境基準
- ・規制基準
- ・誘導的施策

環境アセスメント（第5－8週）

環境アセスメントの手続き、評価基準、環境保全措置について説明できる能力をつけるため、以下の項目について学ぶ。

- ・環境アセスメントの基本的な枠組み
- ・環境アセスメントにおける予測と評価の考え方
- ・環境保全措置の考え方と方針設定
- ・環境アセスメントの実施計画（スコーピング）
- ・環境保全措置の立案
- ・簡易な事例に対する環境アセスメントの実施

演習課題について

毎回、演習課題の提出を求めます。特に第8回の演習課題は、水環境工学，都市環境工学，環境計画学の学習成果を活用した環境アセスメントの課題を出す。作業量が多く評価への寄与も大きいので留意すること。